

あっという間に時間も国も飛び越える!
世界17都市で上演された話題のダンス演劇作品!

小池博史ブリッジプロジェクト

【小池博史 meets 宮沢賢治シリーズ第1弾】

注文の多い料理店

演劇であり、ダンスでもある。
人間でありながら、森の動物でもある。
喜劇であり、悲劇である。

演出：小池博史
出演：小谷野哲郎 荒木亜矢子 大塚陽

2016.
5/27 金

開場 18:30 開演 19:00

黒部市国際文化センター

コラーレ 〈カーターホール〉

〈全席自由〉
一般 3,000円
高校生以下 1,000円
障がい者手帳をお持ちの方 2,000円
(当日・各300円高)

コラーレ 黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201
<http://www.colare.jp/>
開館時間：9:00～22:30 (土曜～23:00) / 毎週水曜日休館

●この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
●未就学児の入場はご遠慮願います。公演中、未就学児を対象とした「一時保育(無料)」を実施しています。公演1週間前までにお申し込みください。

■プレイガイド：コラーレ／黒部メルシー／魚津サンプラザ／入善コスモホール／チケットぴあ (Pコード 450-997) / アーツナビ (新川文化ホール・富山県民会館 富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール)

●富山県公立文化ホール活性化事業 主催／公益財団法人黒部市国際文化センター 共催／チューリップテレビ 後援／黒部市・黒部市教育委員会・富山県・富山県公立文化施設協議会・北日本新聞社

小池博史ブリッジプロジェクト

【小池博史 meets 宮沢賢治シリーズ第1弾】

注文の多い料理店

狩りに森を訪れた紳士たちは、嵐に遭い道に迷ってしまう。

お腹を空かせ、やっとのことでたどり着いたのは、西洋料理店「山猫軒」。

助かった！ おいしい料理が食べられるんだ！……ちょっと待って。

食べられるのは、おいしいお食事？ それとも……？

宮沢賢治の名作童話を今、自然と人間の関係を問い直す物語として再構築します。



小谷野哲郎



荒木垂矢子

出演者



大塚 陽



【あらすじ】

宮沢賢治の名作童話「注文の多い料理店」。山奥に狩りの楽しみを求めてやってきた青年紳士たちは嵐に遭い、這々の体で発見したのが西洋料理店「山猫軒」。そこは不思議な「注文の多い料理店」だった。次々と注文を出されて、はじめは意気揚々と要求に応える紳士たちだったが、不思議な動物たちの誘いを甘受しつつ、いくつもの部屋を通り抜けていくとそこには大きな得体の知れない“なにか”が潜んでいた。それは一体何であるのか、そして私たち人間はそれとどのように対峙すべきなのか。紳士たちが見た風景は人間の存在そのものを問いかける。

【プロダクションノート】

「注文の多い料理店」は2011年3月11日以降、真っ先に生み出した作品です。人間と自然の関係を問い直し、私たち自身に向かったの回答としてではなく、疑問として提示しています。今、人間にとって必要なのは胸を張れる輝かしさです。人としての源泉を、全感覚を通して探求することで、初めて次が見えてきます。その源泉を問うのが、悲しく、怖く、楽しく、可笑しい「注文の多い料理店」。どうぞ来店くださいませ。 小池博史



演出家 小池 博史

演出家・写真家、舞台芸術の学校（P.A.I.）学長。茨城県日立市出身。

一橋大学卒業後、テレビディレクター（日本テレビ系列）を経て、1982年パフォーマンスグループ『パパ・タラフマラ』を設立。以降、全作品の作・演出・振付を手掛けた。世界各地からアーティストとの作品共同創作や、演出・プロデュースの依頼を受け、国際的に高い評価を確立。つくば市芸術監督（1997～2005年）、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、アジアアーツネット副委員長（2000～2005年）、国際交流基金特定寄付金審議委員（2004～2011年）などを歴任。

2012年パパ・タラフマラ解散後、『小池博史ブリッジプロジェクト』発足。創造性を核に、教育・発信・創作を三本柱とした連携プロジェクトとして発信中。2020年まで継続する「マハーバーラタ」プロジェクトでは、アジアのアーティストとともに制作し、調和型世界を考えるべく、進行している。

著書に「ロンググッドバイ～パパ・タラフマラとその時代」（青幻舎）「からだのこえをさく」（新潮社）がある。現在、「舞台芸術論」（仮題）の出版準備中。